

教材名		『ふるさと山梨』の章・ページ	
山梨の気候とくらし		第3章 P.44, 45	
教科(領域)等	社会科	学年(分野)	4年生, 5年生

1. 教材のねらいと概要

比較的面積の小さな山梨県でありながら地域によって気候が違い、また人々も気候の特色を生かして農業や観光を営んでいることを知る。

- ・山梨県4地点の観測所の月別平均気温・降水量をグラフで表し、県内の気候の特色を捉えられるようにしている。
- ・4地点のまわりの産業を写真で表し、気候とのつながりを考えられるようにしている。


2. 活用例①

教科名等	社会科4年生	単元(題材)名等	わたしたちの県のまちづくり
活用場面		活用のポイント	
山梨県全体の暮らしの特徴を捉えさせる場面で活用する。		○八ヶ岳のふもと(大泉)は降水量が少なく、気温が低い。 ○南部町(南部)のまわりは降水量が多く、気温が高い。 ○甲府盆地(甲府)は降水量が少なく、気温が高い。 などの気候の特色を捉え、それらが産業と関連していることを捉えられるようにしている。	時間 90分

活用例②

教科名等	社会科5年生	単元(題材)名等	食料生産
活用場面		活用のポイント	
山梨県で果樹栽培が盛んな理由を考えさせる際に活用する。		山梨県で果樹栽培がなぜ盛んになったのかを気候をもとに考えさせる際に雨温図を利用する。 また、P.47, P.82も併せて活用していきたい。	時間 45分

3. キャラクターの投げかけの意図と解答

ページ	投げかけの言葉	意図	解答例
P.44 	4カ所の地域の気候をくらべ、山梨県の気候の特色を考えてみましょう。	○山梨県全体の気候の特色を雨温図をもとに考えるきっかけとする。	○八ヶ岳のふもと(大泉)は降水量が少なく、気温が低い。 ○南部町(南部)のまわりは降水量が多く、気温が高い。 ○甲府盆地(甲府)は降水量が少なく、気温が高い。 ○富士山のふもとは降水量が多く気温が低い。
P.44 	各地域の気候は地域のくらしとどのような関係があるのでしょうか。	気候の特徴を生かしたくらし(農産物・観光)を捉えることができる。	○八ヶ岳のふもとでは涼しさ(寒さ)を生かしている。 ○南部町のまわりでは雨が多く、あたたかい気候を生かしている。 ○甲府盆地では気温が高く降水量少ない気候を生かしている。 ○富士山のふもとでは涼しさ(寒さ)を生かしている。
P.44 	八ヶ岳のふもとと甲府盆地では降水量がほぼ同じだね。でもどうして農作物がちがうのかな。	気温の違いに着目させる。	八ヶ岳のふもとは甲府盆地よりも気温が高い。そのために農作物にちがいがあがる。
P.45 	甲府盆地と南部町のまわりでは気温がほぼ同じだね。でも農作物がちがうのはなぜかな。	降水量の違いに着目させる。	南部町の周りでは甲府盆地よりも降水量が多い。
P.45 	富士山のふもとと八ヶ岳のふもとの様子がにている理由がわかってきたぞ。	気温が同じところに着目させる。	両地域とも気温の低さ(涼しさを農業や観光に生かしている。
P.45 	山梨県の気象の特色が考えられましたか。	山梨県全体の気候を考える。	○八ヶ岳のふもと(大泉)は降水量が少なく、気温が低いことを利用している。 ○南部町(南部)のまわりは降水量が多く、気温が高いことを利用している。 ○甲府盆地(甲府)は降水量が少なく、気温が高いことを利用している。 ○富士山のふもとは降水量が多く気温が低いことを利用している。
P.45 	同じ県内でも、気候のちがいでくらしもかわってくるのがわかりましたか。	気候の特色を農業や観光に生かしていることを捉えさせる。	○気温が低いことを農業に生かしている(八ヶ岳のふもと・富士山のふもと) ○甲府盆地では気温が高く、降水量が少ない気候を生かしての農業がさかん。 ○南部町では気温が高く、降水量が多い気候を生かしての農業林業がさかん
P.45 	自分の住んでいるところの気候とくらしについても考えましょう。	自分たちの住んでいる地域の気候に着目させる。	4カ所の観測地点を参考に天候についてまとめる。また、自分たちの地域の産業と同じように結びついているか、考えさせる。

4. 写真・資料の補説

(1)山梨県内4地点の雨温図

山梨県内4地点の月別平均気温と月別降水量をグラフで表したものである。。なお、気温と降水量は1981年～2010年までの平均である。

(2) 各地域の様子を表す写真

山梨県4地点のくらし、主な農産物等の写真で示している。

八ヶ岳のふもとでは冷涼な気候を生かした酪農、レタスづくりが行われている。また、寒さを観光に生かしたスキー場がある。

南部町のまわりでは温暖で降水量が多い気候を生かしての、茶栽培、タケノコ栽培、林業が盛んである。

甲府盆地では、雨量が少なく、夏の気温が高い盆地特有の気候を生かしての果樹栽培を中心とした農業が盛んである。ここで甲府盆地としての範囲は果樹栽培が全国的にも有名は関東地方までも含んでいることを確認したい。

富士山のふもとでは冷涼な気候を生かした酪農、キャベツ作りが盛んである。また、西湖樹氷祭りは寒さを生かした観光的な要素として取り上げている。

5. 参考文献・関連施設等

参考文献名	発行所	著者・编者	発行年
山梨のあらし 2016	山梨県広聴広報課	山梨県広聴広報課	2016

関連施設名	住所	電話
笛吹川フルーツ公園・果物園	山梨県山梨市江曾原1488	0553-23-4101
山梨県立博物館	山梨県笛吹市御坂町成田1501-1	055-261-2631

参考ホームページ

気象統計情報（甲府地方气象台）	山梨県農業のすがた（JA山梨中央会）	わがまちわがムラ（農林水産省→統計情報）
-----------------	--------------------	----------------------